



2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社SUBARU
 コード番号 7270 URL <https://www.subaru.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉永 泰之
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理本部総務部長 (氏名)齋藤 勝雄 (TEL) 03-6447-8825
 四半期報告書提出予定日 2018年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	2,564,636	5.6	306,305	△0.1	303,116	2.0	152,843	△26.3
2017年3月期第3四半期	2,427,891	0.4	306,760	△29.6	297,194	△31.5	207,513	△38.6

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 165,653百万円(△23.9%) 2017年3月期第3四半期 217,576百万円(△35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	199.35	—
2017年3月期第3四半期	268.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	2,793,186	1,520,740	54.2
2017年3月期	2,762,321	1,464,888	52.8

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 1,513,141百万円 2017年3月期 1,458,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	72.00	—	72.00	144.00
2018年3月期	—	72.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	72.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,410,000	2.5	380,000	△7.5	375,000	△4.9	207,000	△26.7	269.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期3Q	769,175,873株	2017年3月期	769,175,873株
② 期末自己株式数	2018年3月期3Q	2,454,374株	2017年3月期	2,490,224株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期3Q	766,703,806株	2017年3月期3Q	773,532,265株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績などは今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件およびその他に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、為替変動に伴う売り上げの増加および自動車売上台数の増加などにより、2兆5,646億円と前年同期比1,367億円(5.6%)の増収となりました。

利益面につきましては、為替変動および売上構成の改善などがあったものの、米国の金利上昇に伴う販売費を中心とした諸経費等ならびに試験研究費の増加などにより、営業利益は3,063億円と前年同期比5億円(0.1%)の減益となりましたが、経常利益につきましては、3,031億円と前年同期比59億円(2.0%)の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、エアバッグ関連損失引当金として813億円の特別損失を計上したことなどにより、1,528億円と前年同期比547億円(26.3%)の減益となりました。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上高	営業利益 (利益率)	経常利益 (利益率)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (利益率)	為替レート
2018年3月期第3四半期	2,564,636	306,305 (11.9)	303,116 (11.8)	152,843 (6.0)	112円/米ドル 128円/ユーロ
2017年3月期第3四半期	2,427,891	306,760 (12.6)	297,194 (12.2)	207,513 (8.5)	106円/米ドル 118円/ユーロ
増減	136,745	△455	5,922	△54,670	
増減率	5.6	△0.1	2.0	△26.3	

[セグメントの状況]

当第3四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上高				セグメント利益			
	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増減	増減率	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増減	増減率
自動車	2,305,296	2,433,928	128,632	5.6	298,727	290,296	△8,431	△2.8
航空宇宙	96,407	106,688	10,281	10.7	4,956	11,574	6,618	133.5
その他	26,188	24,020	△2,168	△8.3	2,421	3,962	1,541	63.7
調整額	—	—	—	—	656	473	△183	△27.9
合計	2,427,891	2,564,636	136,745	5.6	306,760	306,305	△455	△0.1

(注) 1. 売上高は、外部顧客への売上高であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

① 自動車事業部門

国内につきましては、軽自動車の販売が前年同期を下回ったものの、登録車では「インプレッサ」および「SUBARU XV」の販売が好調に推移したことにより、売上台数の合計は11.9万台と前年同期比1.3万台(12.6%)の増加となりました。

海外につきましては、当社の重点市場であります北米を中心に「クロストレック(日本名：SUBARU XV)」および「インプレッサ」の販売が好調に推移したことにより、売上台数の合計は68.3万台と前年同期比0.3万台(0.4%)の増加となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は80.2万台と前年同期比1.6万台(2.0%)の増加となり、全体の売上高は、2兆4,339億円と前年同期比1,286億円(5.6%)の増収となりました。一方で、セグメント利益につきましては、2,903億円と前年同期比84億円(2.8%)の減益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の地域別の連結売上台数は以下のとおりです。

(単位 台数：万台、比率：%)

	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増減	増減率
国内合計	10.6	11.9	1.3	12.6
登録車	8.3	9.8	1.5	17.5
軽自動車	2.2	2.1	△0.1	△5.6
海外合計	68.0	68.3	0.3	0.4
北米	54.2	55.4	1.2	2.2
欧州・ロシア	3.4	3.4	0.0	1.0
豪州	3.8	4.2	0.4	10.8
中国	3.2	2.2	△1.0	△32.7
その他地域	3.5	3.2	△0.3	△8.5
総合計	78.6	80.2	1.6	2.0

② 航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、新多用途ヘリコプター「UH-X」の契約に基づく開発本格化などにより、売上高は前年同期を上回りました。

民間向け製品では、「ボーイング777」の生産が減少したものの、「ボーイング787」の生産が増加したため、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、全体の売上高は1,067億円と前年同期比103億円（10.7%）の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、116億円と前年同期比66億円（133.5%）の増益となりました。

③ その他事業部門

売上高は240億円と前年同期比22億円（8.3%）の減収となりました。一方で、セグメント利益につきましても、40億円と前年同期比15億円（63.7%）の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態に関する説明

① 資産の状況

総資産につきましては、2兆7,932億円と前期末に比べ309億円の増加となりました。主な要因は、投資有価証券の増加186億円、有形固定資産の増加150億円、商品及び製品の増加105億円、現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の減少159億円などです。

② 負債の状況

負債につきましては、1兆2,724億円と前期末に比べ250億円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務の減少669億円、1年内返済予定を含めた長期借入金の減少401億円、エアバッグ関連損失引当金の増加686億円などです。

③ 純資産の状況

純資産につきましては、1兆5,207億円と前期末に比べ559億円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加429億円などです。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6,928億円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は2,546億円（前年同四半期連結累計期間は2,164億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上2,176億円、エアバッグ関連損失引当金の計上686億円などです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は1,320億円（前年同四半期連結累計期間は1,665億円の減少）となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）984億円、定期預金の増加365億円などです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は1,650億円（前年同四半期連結累計期間は1,884億円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払い1,101億円、長期借入金の返済による支出（借入れによる収入との純額）401億円などです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期通期の連結業績予想につきましては、2017年11月6日に公表いたしました連結業績予想に対し、品質関連費用を中心とした諸経費等の増加があるものの、為替変動などを織り込み、下記のとおり修正させていただきます。

2018年3月期通期の連結業績予想値の前提となる為替レートは、1米ドル112円（前回公表111円）、1ユーロ130円（前回公表128円）となっております。また、第4四半期の為替レートは、1米ドル112円、1ユーロ135円としております。

2018年3月期通期連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,380,000	百万円 380,000	百万円 382,000	百万円 207,000	円 銭 269.99
今回修正予想(B)	3,410,000	380,000	375,000	207,000	269.99
増減額(B-A)	30,000	0	△7,000	0	—
増減率(%)	0.9	0.0	△1.8	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2017年3月期)	3,325,992	410,810	394,330	282,354	365.77

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,822	713,922
受取手形及び売掛金	158,454	147,049
リース投資資産	18,538	15,825
有価証券	320,579	249,568
商品及び製品	205,991	216,445
仕掛品	51,754	57,997
原材料及び貯蔵品	43,586	46,141
繰延税金資産	109,600	108,709
短期貸付金	176,433	185,941
その他	102,045	93,200
貸倒引当金	△551	△364
流動資産合計	1,845,251	1,834,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	178,464	192,753
機械装置及び運搬具(純額)	172,977	172,844
土地	183,477	183,320
賃貸用車両及び器具(純額)	11,609	16,662
建設仮勘定	45,416	50,484
その他(純額)	65,322	56,154
有形固定資産合計	657,265	672,217
無形固定資産		
その他	24,905	26,204
無形固定資産合計	24,905	26,204
投資その他の資産		
投資有価証券	105,510	124,076
退職給付に係る資産	931	1,297
繰延税金資産	20,922	20,549
その他	110,848	117,749
貸倒引当金	△3,311	△3,339
投資その他の資産合計	234,900	260,332
固定資産合計	917,070	958,753
資産合計	2,762,321	2,793,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,737	303,810
電子記録債務	92,098	71,076
短期借入金	43,205	26,898
1年内返済予定の長期借入金	44,443	34,811
未払法人税等	13,858	2,821
未払費用	221,328	252,997
賞与引当金	23,678	12,076
製品保証引当金	59,259	65,809
工事損失引当金	65	183
事業終了損失引当金	3,317	2,992
エアバッグ関連損失引当金	—	68,600
その他	162,750	167,679
流動負債合計	1,013,738	1,009,752
固定負債		
長期借入金	60,612	30,160
繰延税金負債	29,802	25,537
役員退職慰労引当金	536	466
退職給付に係る負債	18,615	18,819
その他	174,130	187,712
固定負債合計	283,695	262,694
負債合計	1,297,433	1,272,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,178	160,197
利益剰余金	1,173,277	1,216,130
自己株式	△7,173	△7,051
株主資本合計	1,480,077	1,523,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,099	11,087
為替換算調整勘定	△16,631	△9,998
退職給付に係る調整累計額	△10,996	△9,119
在外子会社のその他退職後給付調整額	△1,885	△1,900
その他の包括利益累計額合計	△21,413	△9,930
非支配株主持分	6,224	7,599
純資産合計	1,464,888	1,520,740
負債純資産合計	2,762,321	2,793,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	2,427,891	2,564,636
売上原価	1,745,603	1,825,924
売上総利益	682,288	738,712
販売費及び一般管理費	375,528	432,407
営業利益	306,760	306,305
営業外収益		
受取利息	2,330	4,380
受取配当金	1,039	934
持分法による投資利益	48	35
為替差益	23,500	2,238
その他	1,195	1,937
営業外収益合計	28,112	9,524
営業外費用		
支払利息	1,413	1,093
デリバティブ評価損	32,649	4,869
海外子会社税務関連損失	—	3,708
その他	3,616	3,043
営業外費用合計	37,678	12,713
経常利益	297,194	303,116
特別利益		
固定資産売却益	349	343
投資有価証券売却益	10,111	726
その他	16	203
特別利益合計	10,476	1,272
特別損失		
固定資産除売却損	3,239	4,226
事業終了損失	4,978	—
エアバッグ関連損失	—	81,261
その他	620	1,258
特別損失合計	8,837	86,745
税金等調整前四半期純利益	298,833	217,643
法人税等合計	89,955	64,125
四半期純利益	208,878	153,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,365	675
親会社株主に帰属する四半期純利益	207,513	152,843

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
四半期純利益	208,878	153,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,613	2,988
為替換算調整勘定	10,741	7,284
退職給付に係る調整額	1,915	1,877
在外子会社のその他退職後給付調整額	△98	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△247	1
その他の包括利益合計	8,698	12,135
四半期包括利益	217,576	165,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,218	164,641
非支配株主に係る四半期包括利益	358	1,012

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	298,833	217,643
減価償却費	60,590	74,846
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△54	△148
受取利息及び受取配当金	△3,369	△5,314
支払利息	1,413	1,093
固定資産除売却損益(△は益)	2,890	3,883
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△9,503	△260
営業貸付金の増減額(△は増加)	△1,652	△6,465
売上債権の増減額(△は増加)	△4,652	9,625
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,525	△23,062
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,692	△68,079
未払費用の増減額(△は減少)	58,216	30,592
エアバッグ関連損失引当金の増減額(△は減少)	—	68,600
その他	50,009	22,369
小計	415,504	325,323
利息及び配当金の受取額	3,955	5,583
利息の支払額	△1,518	△1,203
法人税等の支払額	△201,539	△75,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,402	254,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△11,967	△36,545
有価証券の取得による支出	△61,018	△96,698
有価証券の売却による収入	52,552	122,984
固定資産の取得による支出	△125,397	△100,962
固定資産の売却による収入	656	2,521
投資有価証券の取得による支出	△35,782	△43,823
投資有価証券の売却による収入	39,858	26,002
貸付けによる支出	△104,502	△94,024
貸付金の回収による収入	85,637	90,536
その他	△6,533	△1,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,496	△131,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,661	△13,847
長期借入れによる収入	12,480	3,400
長期借入金の返済による支出	△32,898	△43,493
配当金の支払額	△111,084	△110,140
その他	△65,560	△929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,401	△165,009
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,022	3,367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△132,473	△39,012
現金及び現金同等物の期首残高	829,461	728,616
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△534
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	3,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	696,988	692,760

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 連結の範囲の重要な変更

ロビン アメリカ インク及びロビン ヨーロッパ GMBH インダストリアル エンジン アンド エクイップメントは、重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、決算日が連結決算日と異なるスバル オブ チャイナ LTD. については、四半期連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、当該連結子会社の当該四半期会計期間に係る四半期財務諸表を利用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については調整を行った上で連結しておりましたが、四半期連結財務情報開示をより適正化するため、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は2017年4月1日から2017年12月31日までの9ヶ月間を連結し、2017年1月1日から2017年3月31日までの損益については利益剰余金の増減として調整しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 特別損失の内訳は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

事業終了損失

2016年11月2日に決定した産業機器事業終了に伴い発生する損失に関して計上したものであります。その内訳は、固定資産関連損失 2,526百万円、棚卸資産評価関連損失 2,135百万円、その他 317百万円であります。

なお、上記の固定資産関連損失には、以下の資産について認識した減損損失が含まれております。

用途	場所	種類	減損損失 (百万円)
製造設備	埼玉県北本市 他	機械装置及び運搬具	1,201

減損損失を認識した製造設備は、主に産業機器本部で所有している資産を一体としてグルーピングしております。

産業機器事業終了の決定に伴い、当該事業から得られる将来キャッシュ・フローが帳簿価額を下回る事が見込まれるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額した結果、1,201百万円を事業終了損失に計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを10.30%で割り引いて算定しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

エアバッグ関連損失

乾燥剤が入っていないタカタ製エアバッグインフレーター(以下、「本エアバッグ」という。)に関する市場措置について、2018年3月期以降に実施予定である当社グループの本エアバッグに関する品質関連費用を計上したものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,305,296	96,407	2,401,703	26,188	2,427,891	—	2,427,891
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,607	—	3,607	17,346	20,953	△20,953	—
計	2,308,903	96,407	2,405,310	43,534	2,448,844	△20,953	2,427,891
セグメント利益	298,727	4,956	303,683	2,421	306,104	656	306,760

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器事業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,433,928	106,688	2,540,616	24,020	2,564,636	—	2,564,636
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,266	5	2,271	16,233	18,504	△18,504	—
計	2,436,194	106,693	2,542,887	40,253	2,583,140	△18,504	2,564,636
セグメント利益	290,296	11,574	301,870	3,962	305,832	473	306,305

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器事業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」の区分において、産業機器事業終了決定に伴い、当第3四半期連結累計期間に1,201百万円の減損損失を計上しております。なお、四半期連結損益計算書においては、特別損失の「事業終了損失」に含めて表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



＜ 2018年3月期 第3四半期連結決算 参考資料 ＞

金額：億円、台数：千台、比率：％：千台、比率：％

	前期実績 2017年3月期 第3四半期累計期間 (2016. 4. 1-2016. 12. 31)	当期実績 2018年3月期 第3四半期累計期間 (2017. 4. 1 — 2017. 12. 31)		前期実績 2017年3月期 通期 (2016. 4. 1-2017. 3. 31)	当期予想 2018年3月期 通期 (2017. 4. 1 — 2018. 3. 31)		前回当期予想 2018年3月期 通期 (2017. 4. 1-2018. 3. 31)		
		増減	増減率		増減	増減率			
売上高	24,279	25,646	1,367	5.6	33,260	34,100	840	2.5	33,800
日本	4,449	4,845	396	8.9	6,503	6,703	200	3.1	6,717
海外	19,830	20,801	971	4.9	26,756	27,397	640	2.4	27,083
営業利益	3,068	3,063	-5	-0.1	4,108	3,800	-308	-7.5	3,800
利益率	12.6	11.9			12.4	11.1			11.2
経常利益	2,972	3,031	59	2.0	3,943	3,750	-193	-4.9	3,820
利益率	12.2	11.8			11.9	11.0			11.3
親会社株主に帰属する当期純利益	2,075	1,528	-547	-26.3	2,824	2,070	-754	-26.7	2,070
利益率	8.5	6.0			8.5	6.1			6.1
営業利益増減要因		為替レート差 売上構成差等 諸経費等 試験研究費 原価低減等	345 82 -289 -85 -58			為替レート差 諸経費等 試験研究費 原価低減等 売上構成差等	398 -456 -118 -94 -38		
為替レート	106円/US\$ 118円/EURO	112円/US\$ 128円/EURO			108円/US\$ 119円/EURO	112円/US\$ 130円/EURO			111円/US\$ 128円/EURO
設備投資	1,076	780			1,585	1,500			1,500
減価償却費	541	653			770	920			920
試験研究費	805	889			1,142	1,260			1,300
有利子負債残高	1,455	919			1,483	950			1,000
業績評価		・6期連続の増収 ・2期連続の営業減益 ・連結販売台数は第3四半期累計期間として過去最高				・6期連続の増収 ・2期連続の減益 ・連結販売台数は通期として過去最高			
日本販売台数合計	106	119	13	12.6	159	165	6	3.9	167
登録車	83	98	15	17.5	126	135	8	6.5	135
軽自動車	22	21	-1	-5.6	33	31	-2	-5.9	32
海外販売台数合計	680	683	3	0.4	906	902	-4	-0.4	901
北米	542	554	12	2.2	721	728	8	1.1	724
欧州	34	34	0	1.0	46	47	1	1.2	47
中国	32	22	-10	-32.7	44	26	-18	-40.2	30
その他	73	74	1	1.6	95	101	6	6.2	101
連結販売台数総計	786	802	16	2.0	1,065	1,067	3	0.2	1,068
生産台数合計	775	793	17	2.2	1,056	1,049	-7	-0.6	1,053
日本	543	532	-11	-2.0	721	700	-20	-2.8	702
米国	232	260	28	12.1	335	349	14	4.1	351
売上高事業別	自動車 航空宇宙 その他	23,053 964 262	24,339 1,067 240	1,286 103 -22	5.6 10.7 -8.3				
営業利益事業別	自動車 航空宇宙 その他 消去・全社	2,987 50 24 7	2,903 116 40 5	-84 66 15 -2	-2.8 133.5 63.7 -27.9				

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（千台未満を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 企業結合会計基準等の改正に伴い、2016年3月期から従来の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」へ表記変更

注3. 為替レートはSUBARU単独売上レート

注4. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値

注5. 日本生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

2018年2月8日

2018年3月期 第3四半期連結業績の概要

<2018年3月期 第3四半期累計期間業績:連結売上高>

全世界販売台数は、前年同期比2.0%増の802千台となりました。国内販売では、軽自動車が前年を下回ったものの、登録車ではインプレッサ/SUBARU XVが順調であったことから、同12.6%増の119千台となりました。

海外販売では、北米市場を中心にインプレッサ/SUBARU XV*1が好調に推移し、海外合計として同0.4%増の683千台となりました。

連結売上高は、為替変動や販売台数の増加などにより、同5.6%増の2兆5,646億円となりました。

なお、全世界販売台数、海外販売台数、北米販売台数、連結売上高のいずれも第3四半期累計期間として過去最高*2となりました。

<2018年3月期 第3四半期累計期間業績:連結損益>

連結損益は、為替変動や売上構成の改善などがあったものの、米国の金利上昇に伴う販売費を中心とした諸経費等および試験研究費の増加などにより、営業利益が前年同期比0.1%減となる3,063億円となりました。経常利益は同2.0%増の3,031億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、エアバッグ関連損失引当金813億円を特別損失として計上したことなどから同26.3%減の1,528億円となりました。

<2018年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回予想に対し、品質関連費用を中心とした諸経費等の増加などがあるものの、為替変動などを織り込み、連結売上高3兆4,100億円、営業利益3,800億円、経常利益3,750億円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,070億円を計画します。

通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥112/US\$、¥130/EUROです。

なお、北米販売台数は9期連続、全世界販売台数、連結売上高は6期連続で過去最高*3となる見通しです。

※前回(2017年11月6日)公表の通期連結業績見通し

連結売上高3兆3,800億円、

営業利益3,800億円、経常利益3,820億円、親会社株主に帰属する当期純利益2,070億円

想定為替レート ¥111/US\$、¥128/EURO

*1:北米市場での名称:CROSSTREK(クロストレック)

*2:四半期連結決算の開示を始めた2004年3月期以降の過去最高

*3:通期連結決算の開示を始めた1986年3月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。